

鬼北町病院経営強化プラン（案）に対するパブリックコメントの意見とその対応について

1 概要

鬼北町病院経営強化プランは、鬼北町における公立病院改革に関するこれまでの取組を検証するとともに、厚生労働省における感染症への対応を踏まえた地域医療構想の考え方等も勘案しながら、感染症への対応の視点も含めた持続可能な地域医療提供体制の確保に向けた取組を進めるために策定するものです。

今回、鬼北町病院経営強化プランの策定にあたり、「鬼北町病院経営強化プラン（案）」につきまして、皆様からご意見を募集したところ、1名の方から1件のご意見をいただきました。

いただいたご意見の内容及びそれに対する町の考え方をまとめましたので、次のとおり公表し、今後の町政運営に活かしてまいります。

2 意見募集の概要

- (1) 募集期間 令和6年1月11日（木）～令和6年1月30日（火）
- (2) 募集方法 郵送、ファックス、電子メール、直接持参
- (3) 周知方法 ホームページ、保健介護課

3 結果

- (1) 提出者数 1名（電子メール：1名）
- (2) 提出件数 1件
- (3) 意見概要 別添のとおり

鬼北町病院経営強化プラン（案）に対する意見及び町の考え方

番号	項目	意見の概要	町の考え方
1	第3章5 施設・設備の最適化 および 第3章6 経営の効率化	<p>鬼北町立北宇和病院での医療費の支払いに、クレジットカード決済を導入することを提案します。</p> <p>日本政府（経済産業省）は2025年までにキャッシュレス決済率を40%にすることを目標に掲げています。主な理由は3つあり、1. 生産性向上・人手不足の解消のため、2. 現金決済のインフラコスト削減・リスク軽減のため、3. インバウンド消費が拡大したため、とされています。</p> <p>病院でのクレジットカード（以下カード）決済については、平成24年時点でも、「公的病院でクレジットカードが使えないのは不便だ」との行政相談を受けた総務省より、複数の公的病院に対し導入に向けた検討を行う必要があるとのあっせんが行われ、各病院が迅速に導入しています。また、平成31年時点での厚生労働省による病院のカード決済の導入状況調査では、5,694病院のうち49.0%が導入していると回答するに至っています。</p> <p>鬼北町内の大手スーパー等のレジでもキャッシュレス決済の導入が進み、様々な年齢層の方がキャッシュレス決済しているのを見かけるようになりました。<u>住民サービスの一環として、町立病院での医療費の支払いにカード決済も受け付けるようにすることにより、利便性が高まると考えます。</u></p> <p>続いて、冒頭の政府のキャッシュレス決済の推進理由に当てはめて考察します。</p> <p>1. 生産性向上・人手不足の解消のため</p> <p>鬼北町病院経営強化プラン（案）（以下病院プラン（案））P.11(2)ウの「経費削減、抑制対策」で述べられている通り、</p>	<p>クレジットカード決済の導入につきましては、現在のところ要望が少ないことと決済手数料等のランニングコストが必要となるため、導入をしておりません。</p> <p>今後、患者さんの要望を聞き、病院と相談しながら導入を検討したいと考えております。</p>

令和 5 年より医事業務を外部委託から直営方式に転換することにより、委託業務費用の抑制に成功しましたが、少ない人員で懸命に業務を遂行しております。自動精算機によるカード決済が利用できると、窓口での現金取り扱いの時間短縮、間違いのリスク軽減、より患者さんの体調に寄り添ったサービスへの時間の振り分けが可能になります。またその場で現金が足りなくてもカードがあれば支払いが完了するため、未収金の抑制にも寄与すると考えられます。

そして、病院プラン（案）P.9(2)「デジタル化への対応」で述べられている通り令和 6 年に電子カルテを導入するにあたり、自動精算機も導入となります。この自動精算機にはカード決済機能が既に搭載されており、月額通信費用+利用額に対して発生する手数料を負担するのみで本提案は実現します。後付けでカード決済機能を導入するには追加費用が発生するため、この機会を逃す手はないと考えます。

2. 現金決済のインフラコスト削減・リスク軽減のため

まさにキャッシュレス化の流れではありますが、銀行側のインフラコスト削減策により、2020 年に町立病院外来に設置されていた銀行 ATM が撤去されてしまいました。入院費用の支払い等比較的高額な医療費の支払いの際には、街中の銀行に行って現金を用意する必要があります。カード決済ができるようになると、こういった現金の置き忘れや盗難等のリスクの軽減ができます。

3. インバウンド消費が拡大したため

新型コロナウイルス感染症が感染法上の 5 類感染症に引き下げになったことに伴い、訪日外国人観光客数が急回復しています。そして主要観光地から地方へと外国人の訪問が広がり、町内でも外国の方を見かける機会が増えました。このような方々が体調不良になられた場合、現金の持ち合わせがなくてもカード決済ができれば町立病院での診療が可能となります。

		<p>最後に国公立病院でのカード決済状況についてですが、市立宇和島病院、県立南宇和病院、県立中央病院、愛媛大学医学部附属病院ではすべて対応しています。</p> <p>まもなく電子カルテ・自動精算機のインフラが整いますので、住民サービスの充実のため、利用料はかかりますが、鬼北町には是非カード決済導入のご英断をお願いしたいと思います。</p>	
--	--	--	--